

きぬた



2025年9月1日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950

「きゅうしょくは、すくないけどとてもおいしい」

(職場体験に来た卒園児の感想より)

* 水の活動を通して大切にしたいこと *

砧保育園では、この夏もた〜っぷり水の刺激を堪能しました〜！実はプールに入るまでにはいくつかの段階があります。始まりは0歳児のにじさんから。負担の少ない水温から全身浴を始め、徐々に水温を下げていきます。その中で水の心地良さを感じながら、水に触れたりすくったり叩いたりして様々な反応を楽しみます。バシャン！と手で水しぶきを上げて、嬉しそうに大人に視線を送り、「水がはねておもしろいね〜！」等、共感してもらってます。水が好きになっていきます。自分が働きかけたことに対して反応が返ってくるのが嬉しい時期なので、確かめるように何度も同じ行為を繰り返します。そのうちお友だちがしていることを真似して一緒に笑いあったり。なんて平和な光景...と微笑ましく見守る職員の眼差しも。そんな「快」な感情を丁寧に育みながら水に親しんでいきます。

1歳児以上になると、身体が水に徐々に慣れるよう、気温が上がってきた頃に戸外活動後にシャワーを浴びるところから導入が始まります。しばらくしてから水遊びを始め、十分に慣れてきた頃ようやく待ちに待ったプール開き！そして本格的なプール活動に入っていきます。その過程の中で、暑い外気と冷たい水の行ったり来たりを感じながら「冷たい水って気持ちいい！」という感覚が育まれていきます。水遊びでは道具も使いながら、「こうやってみたらどうなるかな？」と”実験”を繰り返しながら知的好奇心も膨らんでいきます。このような体験が理科への興味となり、学校で教わる知識の土台となります。授業で習って知識として「聞いたことがある」ということと、実体験を通して「そういうことか！」という感覚を伴って「知っている」ということは、他者にも伝えられる生きた知識として根付くため、性質が大きく異なります。乳幼児期は「学校で困らないように」と焦って知識を詰め込むのではなく、遊びや生活を通じた実体験の中で豊かに学ぶことが大切です。「遊んでばかりいて！」という言葉が浮かびますが、今の時期はむしろ遊んでばかりいる方がいいのです。これは感覚的なことではなく、様々な研究から明らかになってきている事実です。夢中で遊んだ結果として、無意識に学校で学ぶ知識の土壌を豊かに耕しているとイメージしていただければと思います。

また、日本の子どもたちは精神的な幸福度が調査した36か国中32位という結果が出ています。皆さんは、子どもたちの幸福度（ウェルビーイング）に最も影響するものは何だと思われますか？正解は、「親の機嫌がいいこと」だそうです。どうか皆さん自身も楽しくて笑顔になれる時間を、沢山お子さんとお過ごしください！

何はともあれ、今年もプール活動を通して子どもたちが笑顔で楽しい夏の日々を保障できたことを心から嬉しく思っています！皆さん、暑い中がんばった職員に拍手を！！

<9月の予定>※状況により変更あり。

1日（月）引き取り訓練
2日（火）きぬたん（防災研修）
4日（水）きぬたん（園庭遊び）
5日（金）造形
10日（水）星のおうち懇談会
11日（木）月のおうち懇談会
わらべうた（幼児）
12日（金）老人ホーム訪問
17日（火）歯科健康教室（幼児）
～19日（金）中学生職場体験
18日（木）太陽のおうち懇談会
きぬたん（赤ちゃん広場）
19日（金）造形
24日（水）誕生会 異文化交流
25日（木）モグモグ離乳食
30日（火）乳児医療証切り替え

<10月の予定>※状況により変更あり。

3日（金）造形
7日（火）運動会総練習
8日（水）運動会総練習（予備日）
11日（土）運動会
15日（水）にじのおうち懇談会
16日（木）りすのおうち懇談会
17日（金）造形
21日（火）石狩鍋
ひよこのおうち懇談会
22日（水）避難訓練
23日（木）わらべうた（乳児・地域）
28日（火）秋の遠足（芋ほり）
29日（水）異文化交流
30日（木）秋の遠足（予備日）



***今年の夏もたっくさんの卒園児が帰ってきてくれました!! ***

卒園児の子たちが帰ってくるのが夏の風物詩となりつつある砧保育園。今年は卒園児以外の子どもも含めて沢山来てくれましたよ～！小学生45名、中高生8名、延べ人数としては118名の学生さんたちが職場体験に参加！本当に嬉しく、ありがたいことだな～と感じます。職員も大変助けられています！職員がいくらあれこれ試行錯誤して働きかけても心が動かないことも、「お兄さんお姉さんと一緒ならやってみる！」という姿がいくつも見られます！「環境を通した学び」という視点を大切にしていますが、幅広い多様な年齢の人たちがいるということは、豊かな人的環境があるということです。そのような保育環境として恩恵をもたらしてくれる卒園児や学生さんたちの存在は、お世辞ではなくありがたいです！

また、「帰ってきたい場所」になっているということは、保育園時代に安心して自分らしくいられる居場所になっていたのだらうとも感じられ、「保育の成果」の一つだと受け取っています。入園希望の方にお話しすると驚かれるので、アピールポイントにさせていただいています！以下、感想です！（一部抜粋）

- ・みずあそびがたのしかったです。ちょっとだけとんとんしてもねないひとがいたからたいへんでした。いろいろおてつだいをやるのがたいへんかったです。
- ・みんなのめんどろをみるのめたのしい。みんながわいわいあそんでいてまったくかなしくもさびしくもない。たくさんみんなとあそんでおもいでをつくりたい。
- ・〇〇くんと◇◇くんにあえてうれしかった。

このように、心から楽しんでいる子や先生の大変さの片鱗を感じた子、同窓会で旧友に会えたような喜びを感じた子等、心模様が垣間見えてほっこり！またのお越しを心待ちにしています！！